

遺伝情報による土壌線虫の簡易診断とダイコンの被害状況

当センターでは、土壌中の線虫の遺伝（メタゲノム）情報により簡易に土壌診断し防除要否を判断する技術開発のため、「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」により東京農工大学等と共同で研究を行っています。

28日に丹後農業改良普及センターの協力のもと、丹後国営開発農地ダイコンほ場の線虫被害状況の調査を行いました。今回の調査ほ場は、播種前の簡易診断により線虫被害が少ないと予想しており、実際に収穫したダイコンに被害は認められませんでした。

11月には、簡易診断により線虫被害が予想されるほ場で調査を行う予定で、簡易診断とダイコンの被害の関係を明らかにします。



被害のないきれいなダイコン

収穫調査のようす